

まるくとまるめくとよわが心まん丸丸く丸くまん丸
「木喰」

平成20年
5月16日金 - 6月22日日

休館日 ◆ 月曜日
開館時間 ◆ 午前9時～午後5時 (ただし、5月16日は午前10時から)
観覧料 ◆ 一般・大学生 800 [600] 円
小・中・高生 400 [300] 円

[]内は前売及び20名以上の団体料金です。
●前売券は、豊橋市美術博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・豊橋市役所じょうほうひろば、
またはお近くのチケットぴあ・ファミリーマート・サークルKサンクスで
直接お買い求めいただけます。(ただし5月15日まで)

FamilyMart Pコード688-156

●豊橋市敬老バッジ・シルバー優待カードをお持ちの方、身体障害者手帳・療育手帳・
精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方と介助者は無料となります。
●市内小・中学生は「いきいきバスポート」にて土・日・祝日が無料となります。

主催 ◆ 豊橋市美術博物館・中日新聞社 協力 ◆ 全国木喰研究会

豊橋市美術博物館

生誕
290
年

庶民の信仰
微笑仏

木喰展

もくくしん



白身像(兵庫・東光寺)



生誕290年

庶民の信仰
微笑仏

木喰展

せきくじち



不動明王(静岡・大日堂)



閻魔大王(兵庫・東光寺)



子安観音菩薩(愛知・徳蔵寺)



子安観音菩薩(愛媛・光明寺)

見る人の心を和ませるやさしい微笑みをたたえた木喰仏。

しかし、この「微笑仏」が世に広く知られるようになったのは、それほど古いことではありません。その美を発見した民芸運動の推進者柳宗悦は、大正十二年に山梨で偶然に遭遇した木喰仏について次のように記しています。「私は即座に心を奪われました。その口許に漂ふ微笑は私を限りなく惹きつけました。尋常な作者ではない。異数な宗教的体験がなくば、かかるものは刻み得ない。」

木喰は享保三年(一七一八)に甲斐国(山梨県身延町)で生まれました。二十二才で出家、四十五才で穀物以外の木の実や草などを食べて修行する木食戒を受け、五十六才で廻国修行に出ています。北海道から九州にいたるまで庶民の中で諸国を遍歴しながら、六十才以後造仏をはじめ、現在六百体余りが確認されています。

すさまじいまでの制作意欲と宗教的な実践による思いの高まりはその像容にも反映され、八十才頃から微笑みがみられるようになり、九十歳にいたって「微笑仏」の傑作が数多く生み出されました。年齢を重ねるにつれて輝きと瑞々しさを増していった木喰の生き方と、それを示す様々な像は、高齢化時代の有り様が問われている今、私たちに何らかの示唆を与えてくれることでしょう。

本展では、三河・遠江・駿河地域を含む全国から集めた多様な仏像と資料約百六十点によって、庶民の信仰の中から生まれた独特で卓越した美の世界を紹介いたします。



如意輪観音菩薩(新潟・寶生寺)

▶ 記念講演会

「庶民の信仰 微笑仏」

日時●5月25日(日) 午後2時～
場所●豊橋市美術博物館講義室
講師●小島梯次氏(全国木喰研究会評議員)

▶ 座談会

「三河・遠江の木喰仏をめぐる」

日時●6月8日(日) 午後2時～
場所●豊橋市美術博物館講義室
講師●当館館長・学芸員

▶ ギャラリートーク

日時●5月31日(日)・6月14日(日) 午後2時～
講師●当館学芸員
●ご参加には展覧会入場券が必要です。



阿弥陀如来図(山梨・善光寺)

豊橋市美術博物館

440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)
TEL ● 0532-51-2882 / FAX ● 0532-56-2123
http://www.toyohaku.gr.jp/bihaku/
JR・名鉄「豊橋」駅前より市内電車「豊橋公園前」下車、徒歩3分

